

建廃協NEWS98号

《講演の集い開催》

令和5年11月29日(水)、日本教育会館一ツ橋ホールにて、令和5年度「講演の集い」を開催いたしました。講演会には120名、懇親会には118名の方にご参加いただきました。今回のテーマは『建設処理業界のイノベーション～建廃協の新たな挑戦～』とし、下記内容で行われました。最初に富山理事長の挨拶から始まり、北海道支部・山本副支部長より支部の活動状況の報告がありました。



最初に「建廃プラスチックのリサイクル推進について」を3名の方にご講演いただきました。日本建設業連合会 建設副産物部会 高崎部会長より「廃プラデータカードの運用について」お話しいただきました。現場での分別の重要性及び分別の段階的引き上げについてご説明頂き、廃プラデータカードの有効な活用方法をご提示頂きました。



引き続き、(株)グーン 加藤 常務、(株)グーン グリーンエコノミー研究所 石田理事より「建廃プラスチックのマテリアルリサイクルについて」お話し頂きました。より質の高いマテリアルリサイクルの推進の為には建設事業者と処理事業者の連携強化が不可欠、と締め括られました。



3番目は(株)エムシープランナーズ 畠山社長より「タイルカーペットのリユースについて」お話しいただきました。多くの企業で使用されているタイルカーペットを洗浄して貼り戻す工法についてご紹介いただきました。廃棄物の発生量を抑えるだけでなく、CO²排出削減にも繋がるとのことでした。



次に、(株) JEMS 鈴木常務より「建廃DXについて」ご講演いただきました。建設廃棄物業界の課題として、紙による伝票の確認・入力・付け合わせ等の作業工数が多くかかっているのが現状であり、DX化により改善が見込めるとのこと。DX化を実現するためには、排出事業者と処理業者のデータの連携強化が必要不可欠であり、現状業務の把握と業務改善の検証からスタートするとのことでした。



最後は、「2024年問題と働き方改革について」のパネルディスカッションを行いました。パネリストは 望月特定社会保険労務士、日本建設業連合会 建設副産物部会 高崎部会長・高橋副部会長、(株)光洲産業 岡田氏、(株)エコワスプラント 浅尾社長の5名の方にご参加いただき、コーディネーターは谷口専務理事が務めました。最初に2024年問題について望月様よりご説明いただき、共通の理解の基に議論を行っていただきました。排出事業者・収集運搬業者・経営者それぞれの視点からの意見を聞き、お互いに対する理解を深め合うことができました。今後とも協力して、より良い解決策を模索していくとの方向で今回のパネルディスカッションは終了いたしました。



講演の部が終了後、喜山倶楽部にて懇親会が立食形式で開催されました。理事長挨拶の後、環境省 水・大気環境局 土居局長、次に国土交通省 建設業技術企画室 横尾室長、次に環境省 廃棄物規制課 松田課長にご祝辞をいただき、日建連上坪様の乾杯の音頭で始まりました。終始、賑やかに執り行われ、最後は畠山理事の一本締めで散会となりました。



レポート:(株)エコワスプラント 澤田
撮影:(株)川上商店 箕田